

「学び合いによる学力の向上」勉強会報告

2015.1.15

愛知教育大学教育学部社会科教育 教授 土屋武志先生を招いて学んだこと

「学び合いによる学力の向上」をテーマにした模擬授業を通して

① 3つの自分

人には、『周りが見ている自分と、自分が思っている自分が違う部分』と

『周りが見ている自分と、自分が思っている自分が同じ部分』がある。

もう一つ『周りが知らない自分で、自分も知らない自分』がある。

3つ目の自分があるという前提が教育である。言い換えれば、あなたには本人も周りも気づいていない、すごいところがあることに気づかせてあげることが教育。



そのためには

チャンスを与える必要がある。

② 子どもに「考えて」と発問せずに考えさせる方法。



そのためには

考える作業を、子どもができる手順で、わかりやすい言葉で考えに導く。

子どもにとって、心理的なハードル下げる言葉に。

③ どんな授業（遊びのような楽しい授業）でも、教師の側に明確なねらいがあれば、立派に授業として成立する。

④ 他のグループには無いような意見を求める。ユニークな意見は無視されがちだが、ユニークな意見こそ、深まりが出ることが多い。友だち同士で考えを交換し合ったり教え合ったりする良い材料。なぜ？どうして？と問いかけると深まりが出る。



楽しく学び合うことってこういうことかと、実感できた学習会でした。